



株式会社ELEMENTS | 2025年10月

2025年11月期 3Q決算説明資料（更新版）

*2025年10月20日付「海外募集による新株式発行の払込完了に関するお知らせ」の公表に伴い、
2025年10月14日開示の「2025年11月期 3Q決算説明資料」にP3・P20のスライドを追加しております。

ハイライト

財務ハイライト

- ポラリファイの連結開始により、四半期売上は過去最高となる**1,030百万円**で着地（前年同期比+59%）。
- 連結取込の影響を主因に、EBITDA^(*1)は**▲20百万円**、営業利益は**▲153百万円**の赤字にて着地。ポラリファイのM&A関連費用^(*2)を控除後したEBITDAは5百万円の黒字、営業利益は**▲100百万円**の赤字。

売上高
1,030百万円 （前年同期比:+59%）
<u>うち、個人認証ソリューションの売上高</u>
1,018百万円 （同+59%）

EBITDA	
▲20百万円（前年同期比▲83百万円）	
営業利益	親会社株主に帰属する当期純損益
▲153百万円（同▲117百万円）	▲171百万円（同▲94百万円）

「デジタルインフラ整備基金助成事業」の採択と「海外公募増資」

- 総務省「デジタルインフラ整備基金助成事業」の公募において、当社グループの株式会社ELEMENTS CLOUD 四国が実施事業者の8社のうち1社として採択^(*3) ^(*4)。
- 本件およびLIQUIDシリーズにおける高付加価値ソリューションの開発・拡充を目的に、同月に海外公募による16.9億円（新規発行株式数：2,400,000株）の資金調達を発表^(*5)。

*1 EBITDA=営業利益+減価償却費（有形・無形固定資産）+株式報酬費用+のれん償却額

*2 PMI関連費用および決算期の相違に伴う一時費用、並びにのれんの償却額の合計

*3 https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/digital_infrastructure/index.html

*4 <https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS08899/a7a2ac8d/6ca9/4036/8a96/401c3665b3f1/140120250918559300.pdf>

*5 <https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS08899/e24bd38c/9161/4690/8f40/ebdb3799c455/140120251015574238.pdf>

資金使途について

- 本件資金は、①「LIQUIDシリーズ」を中心とした個人認証事業における高付加価値ソリューションの開発・拡充に必要な人件費、ソフトウェア関連費用等の運転資金、②「ELEMENTS CLOUD」の事業拡大に必要な人件費等の運転資金及びデータセンター等の設備資金として充当する方針。

「LIQUIDシリーズ」を中心とした個人認証事業における高付加価値ソリューションの開発・拡充に必要な人件費、ソフトウェア関連費用等の運転資金

- 資金使途のうち、**最大3.9億円**を充当。
- パスキー（FIDO2）によるパスワードレスな生体認証と、登録端末の追加時（バインディング時）の顔認証を組み合わせた**LIQUIDシリーズの高付加価値ソリューションの開発に係る運転資金**として充当。
- 同ソリューションはこれまでに**大手オンライン証券会社やオンラインバンク等に導入が予定**されている。

「ELEMENTS CLOUD」の事業拡大に必要な人件費等の運転資金及びデータセンター等の設備資金

- 資金使途のうち、**最大13億円**を充当。
- 2025年9月に**デジタルインフラ整備基金助成事業の公募**において、**当社グループを含め8事業者が本事業を担う実施事業者として採択**された。（*）
- 香川県高松市に**GPUを中核とした AI計算基盤施設（データセンター）の整備**を行い、**自社開発のマネージドシステムによるクラウドサービスの提供**を行う。

*デジタルインフラ整備基金（特定電気通信施設等整備推進基金補助金）概要：https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/digital_infrastructure/index.html

*<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS08899/e24bd38c/9161/4690/8f40/ebdb3799c455/140120251015574238.pdf>

目次

2025年11月期 3Q業績ハイライト

各種トピック

Appendix

2025年11月期 第3四半期業績 業績ハイライト（四半期）

（百万円）

当四半期からポラリファイの連結化に伴い、売上高は前年同期比で+59%となる1,030百万円で着地。

売上総利益率は、ポラリファイの連結化に伴い73.2%に低下。（ポラリファイ連結前の売上総利益率：86.2%）

販売費および一般管理費は907百万円、前年同期比で+57%の増加。但し、ポラリファイの連結化（215百万円）およびポラリファイM&A関連費用(53百万円)^(*)の影響を除くと、639百万円で前四半期対比で微減。

上記の結果、EBITDA▲20百万円、営業利益▲153百万円の赤字。本社移転に伴う固定資産の減損として10百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損益は▲171百万円の赤字にて着地。

ポラリファイM&A関連費用を控除したEBITDAは5百万円の黒字、営業利益は▲100百万円の赤字。

	FY24Q3 実績	FY25Q3 実績	前年同期比	
売上高	648	1,030	382	+59%
（個人認証売上高）	640	1,018	378	+59%
売上総利益	541	754	213	+39%
売上総利益率	83.5%	73.2%	▲10.3pt	
販売費および 一般管理費	578	907	329	+57%
EBITDA ^(*)	63	▲20	▲83	-
営業損益	▲36	▲153	▲117	+325%
親会社株主に 帰属する 当期純損益	▲77	▲171	▲94	+122%

*1 EBITDA=営業利益+減価償却費（有形・無形固定資産）+株式報酬費用+のれん償却額

*2 PMI関連費用および決算期の相違に伴う一時費用、並びにのれん償却額の合計

2025年11月期 第3四半期業績 業績ハイライト（累計）

ポラリファイの連結化に伴い売上高は、前年同期比で+47%となる2,721百万円。

売上総利益率は上部記載を主因に、前年同期比で▲7.4ptとなるも78.6%を確保。

販売費および一般管理費は同+53%の2,275百万円。

上記の結果、EBITDA219百万円、営業損失は▲136百万円。

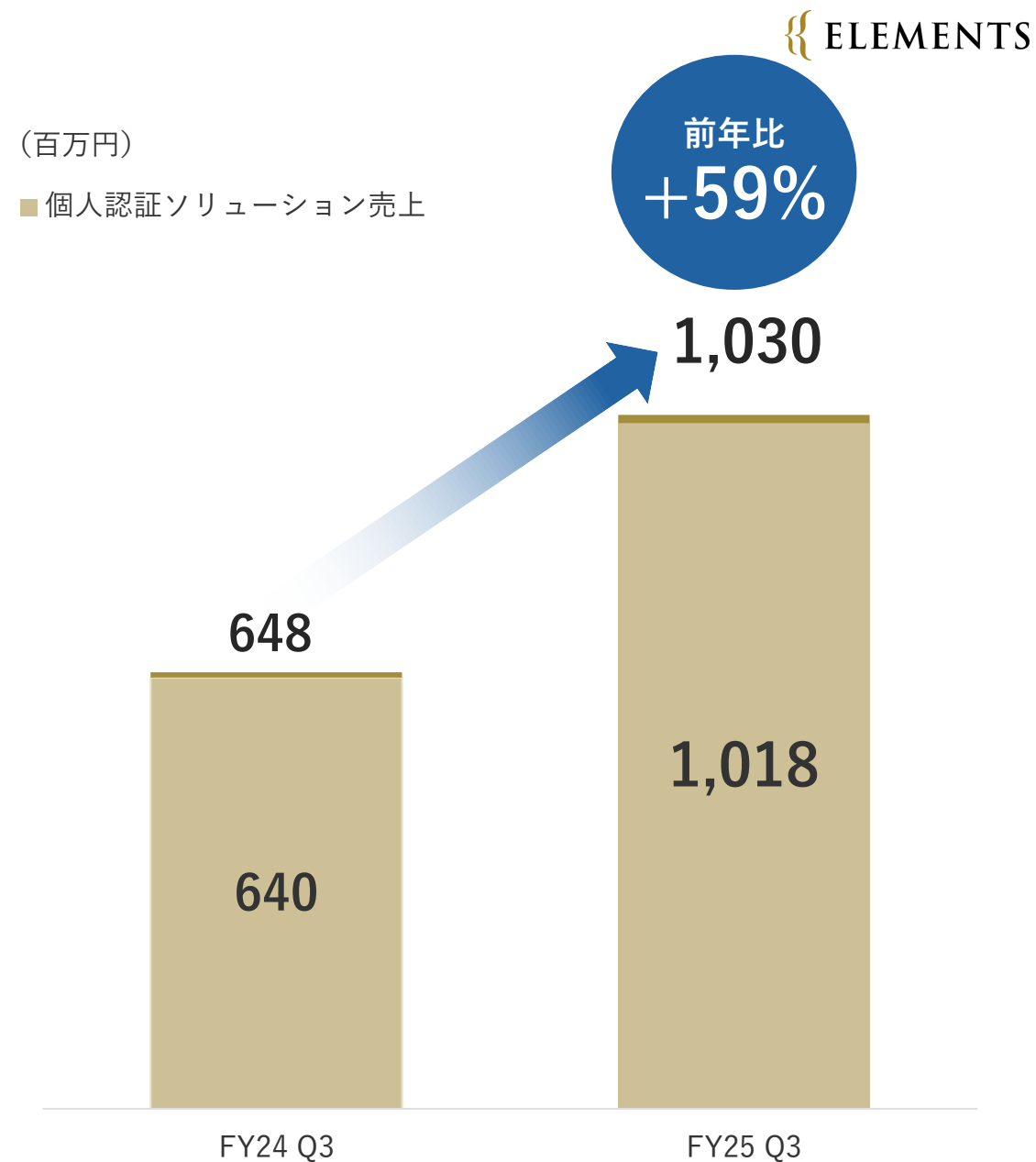
（百万円）

	FY24Q3 累計	FY25Q3 累計	前年同期比	
売上高	1,857	2,721	864	+47%
（個人認証売上高）	1,830	2,689	859	+47%
売上総利益	1,598	2,139	541	+34%
売上総利益率	86.1%	78.6%	▲7.4pt	
販売費および 一般管理費	1,488	2,275	787	+53%
EBITDA ^(*1)	297	219	▲78	-
営業損益	110	▲136	▲246	-
親会社株主に 帰属する 当期純損益	▲38	▲622	▲584	-

*1 EBITDA=営業利益+減価償却費（有形・無形固定資産）+株式報酬費用+のれん償却額

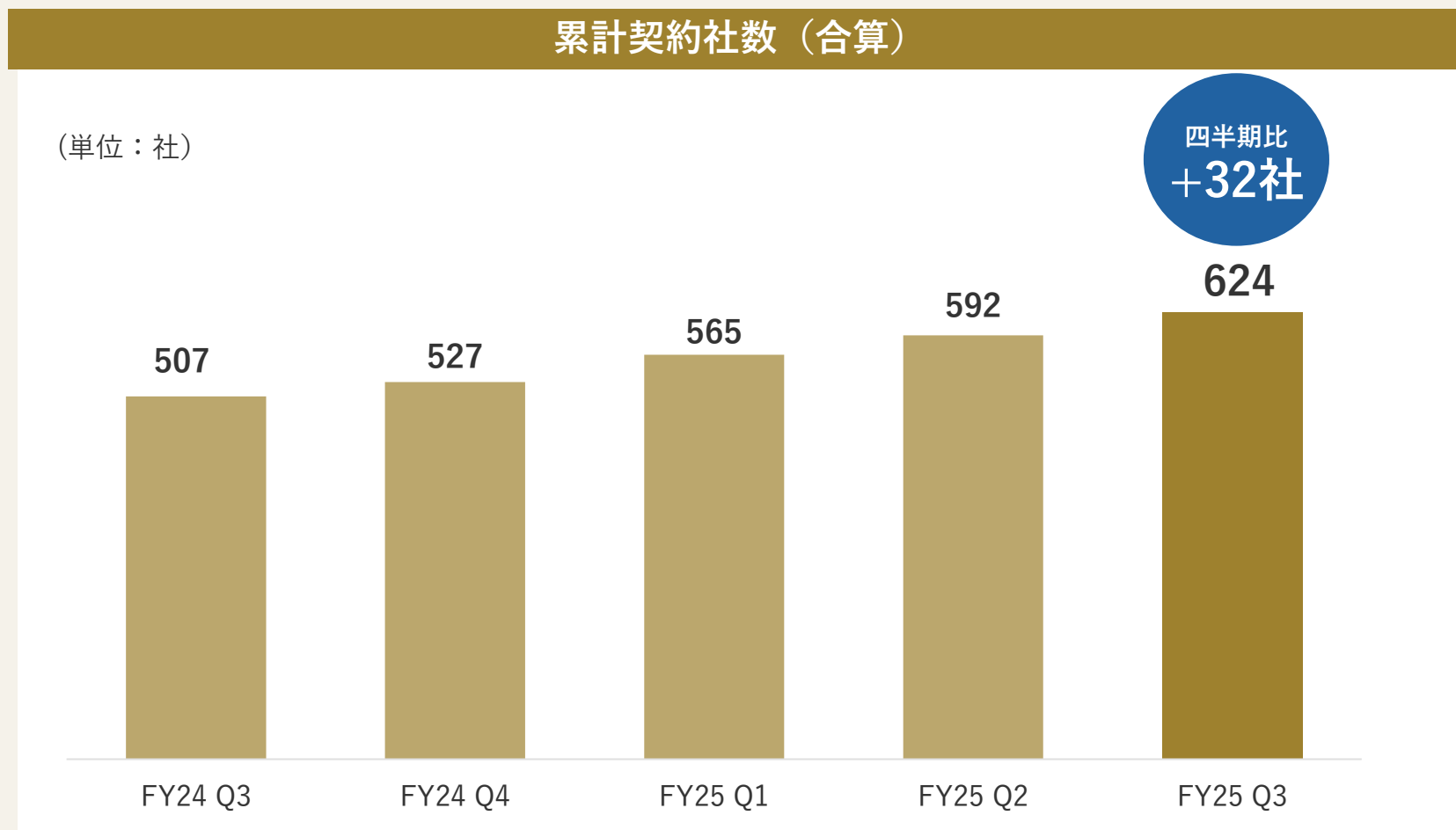
2025年11月期 第3四半期業績 売上について

ポラリファイの連結取込開始の影響および
LIQUID eKYCの売上増により、**前年同期比で
+59%となる1,030百万円で着地。**



個人認証ソリューション主要トピック（1）累積契約者数推移

- 2025年8月末時点のグループ全体の累計契約者数は**前四半期比+32社の624社まで拡大**
- マatchingプラットフォーム等の新領域に加え、金融・通信といった既存業界への新機能提供が好調に推移(*)



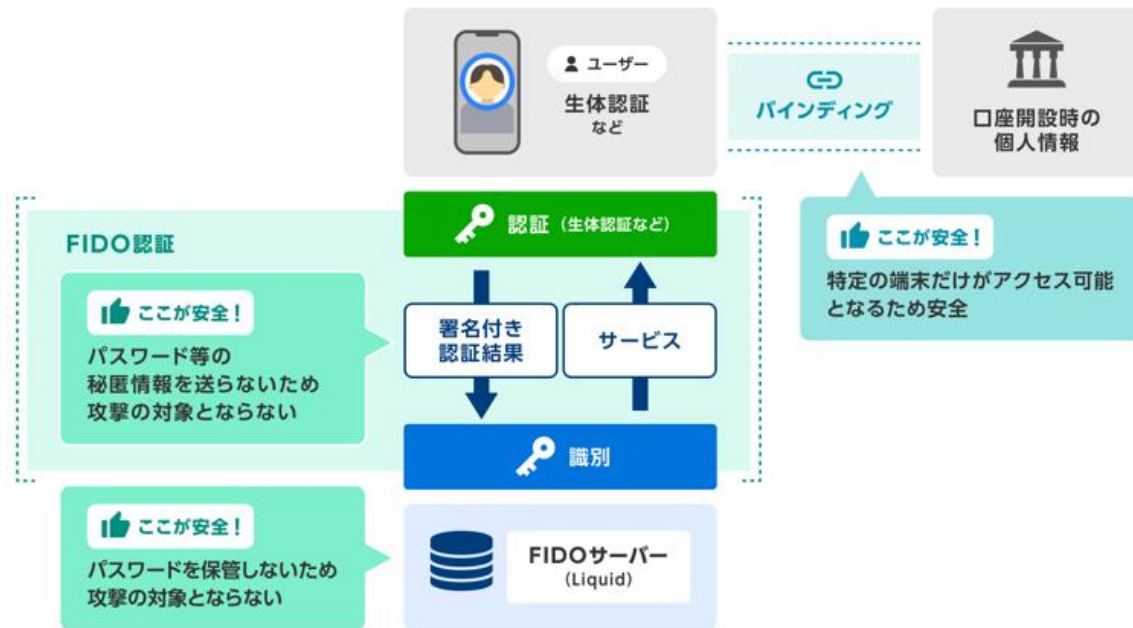
*P20をご参照ください

個人認証ソリューション主要トピック（2）多要素認証ソリューションの導入

- 近年話題となっている大手証券会社を中心に発生している口座乗っ取り対策として、**パスキー（FIDO2）を用いた「多要素認証ソリューション」の提供**を強化。同技術は、LiquidとPolarifyが連携して開発・提供。
- 2025年9月までに、大手オンライン証券会社への導入が決定^(*)。その他、複数社への商談が進行中。

多要素認証ソリューションの概要

パスキー（FIDO2）による生体認証を用いたログインに加え、登録端末の追加時（バインディング時）の顔認証を求める仕組みを設けることで、不正者の端末からの不正利用を防ぐ



足元の状況

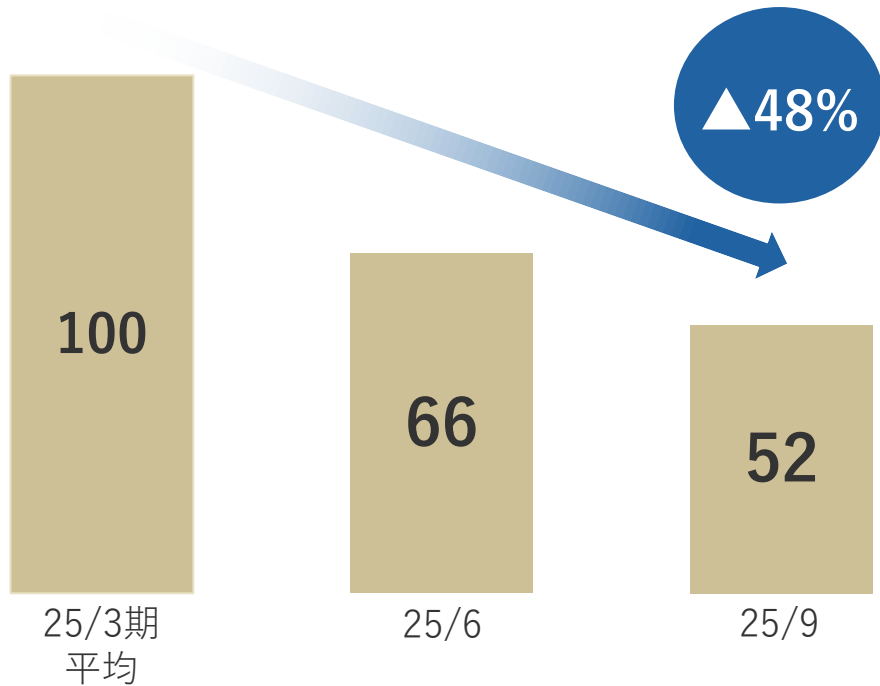
- 金融庁と日本証券業協会は2025年7月に「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針（案）」を公表、インターネット取引における本人確認について、フィッシング耐性のある多要素認証（例：パスキーによる認証、PKI（公開鍵基盤）をベースとした認証）の実装及び必須化（デフォルトとして設定）を原則として求める方針を明確化。
- 2025年9月までに、大手オンライン証券会社への導入が決定^(*)。その他、複数社への商談が進行中。

個人認証ソリューション主要トピック（3）ポラリファイのPMI（費用面）

- 買収完了後、半年で主に通信費の削減および人員の効率化を実施。
- 2025年9月より当社製の顔認証エンジンへの切替を順次開始

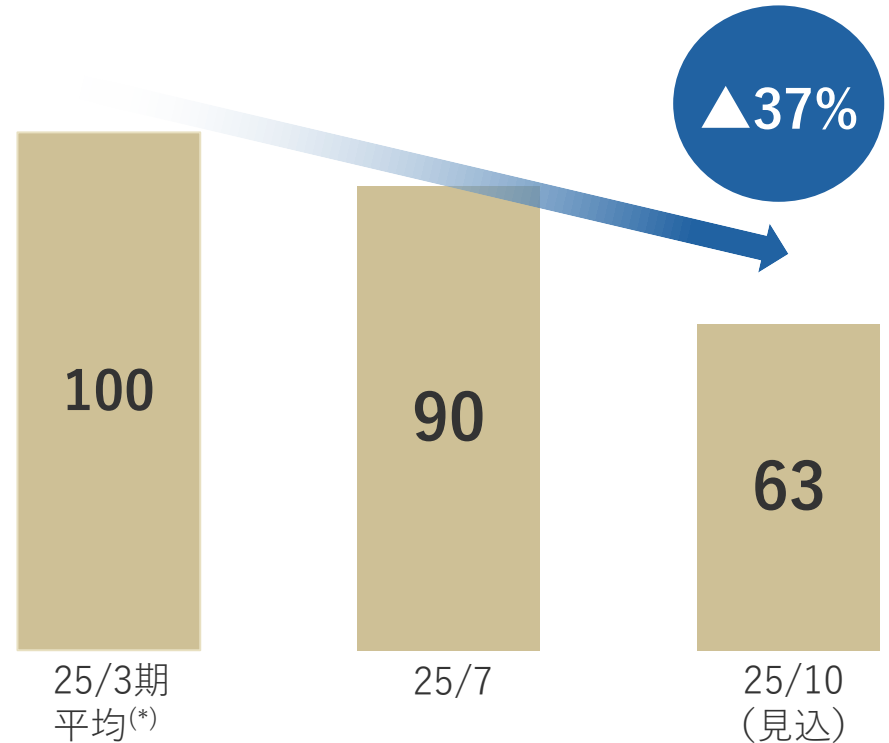
通信費

- ・ 構成の最適化や契約の切替等により想定を上回る削減を実現
- ・ 今後はエンジンの切替等による更なる削減を見込む。



人件費

- ・ 2025年4月以降、段階的な引継ぎを開始。
- ・ 2025年10月に一部人員内製化・最適化等を実施。

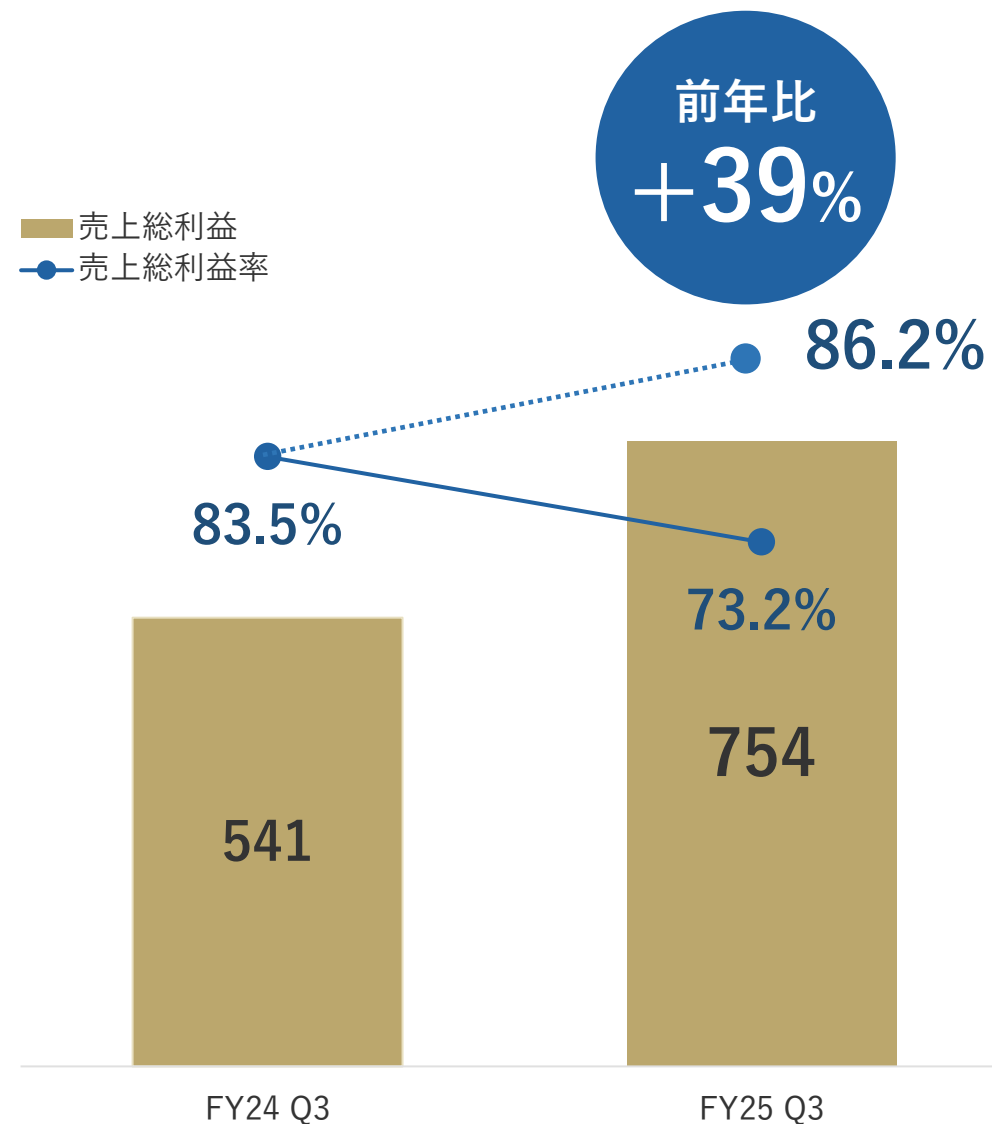


*買収前後での単価水準調整後、支払額ベース

2025年11月期 第3四半期業績 売上総利益について

売上総利益は**754百万円**で、前期比**+39%**の増加。

売上総利益率はポラリファイの連結取込の影響で、**73.2%**に低下も、同案件を除いた場合の売上総利益率は**86.2%**と前年同期比で改善。



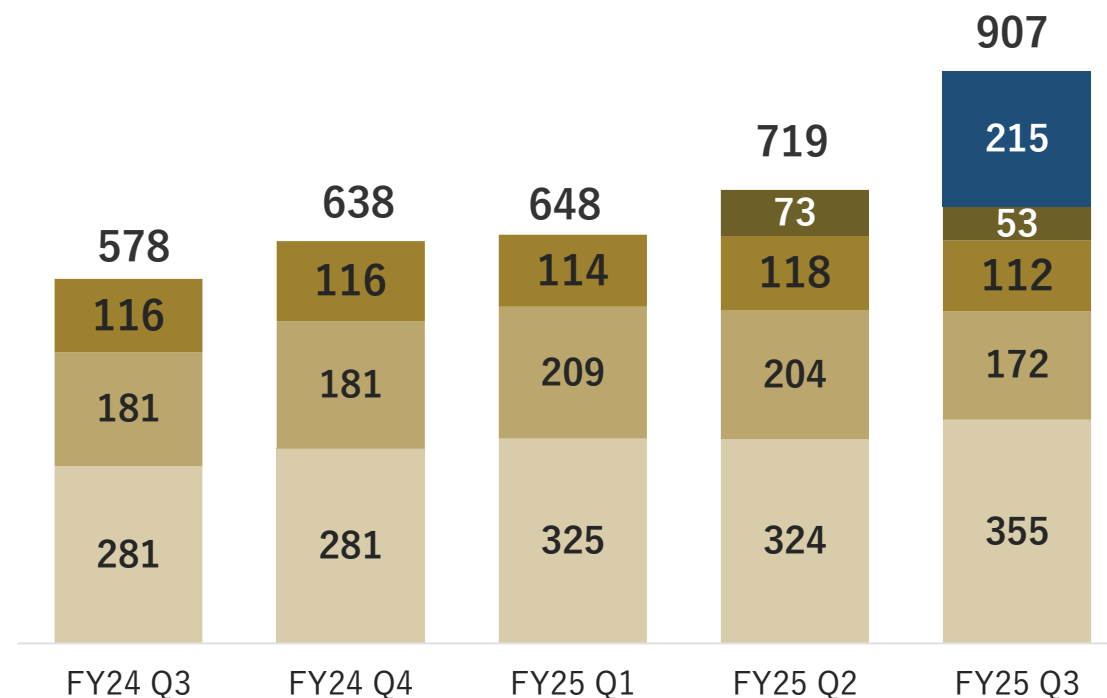
2025年11月期 第3四半期業績 販売費および一般管理費について

ポラリファイの連結開始による販管費の増加（215百万円）に加え、ポラリファイM&A関連費用（53百万円）^(*)の計上を背景に、販売費および一般管理費の合計は**907百万円**に増加。

上記影響を除いた場合の販管費は**639百万円**で前四半期比で▲7百万円と微減。

（百万円）

■ R&D ■ G&A ■ S&M ■ ポラリファイM&A関連費用 ■ ポラリファイ販管費



(1) 下記で区分しております。監査法人による監査及びレビューを受けた数値ではありません。
S&M= Sales and Marketingの略。販売促進に係る広告宣伝費、営業人員の人件費および関連する経費
R&D = Research and Developmentの略。開発に係るエンジニアの人件費や関連する経費
G&A= General and Administrativeの略。コーポレート部門の人件費や関連する経費

*1 PMI関連費用および決算期の相違に伴う一時費用、並びにのれん償却額の合計

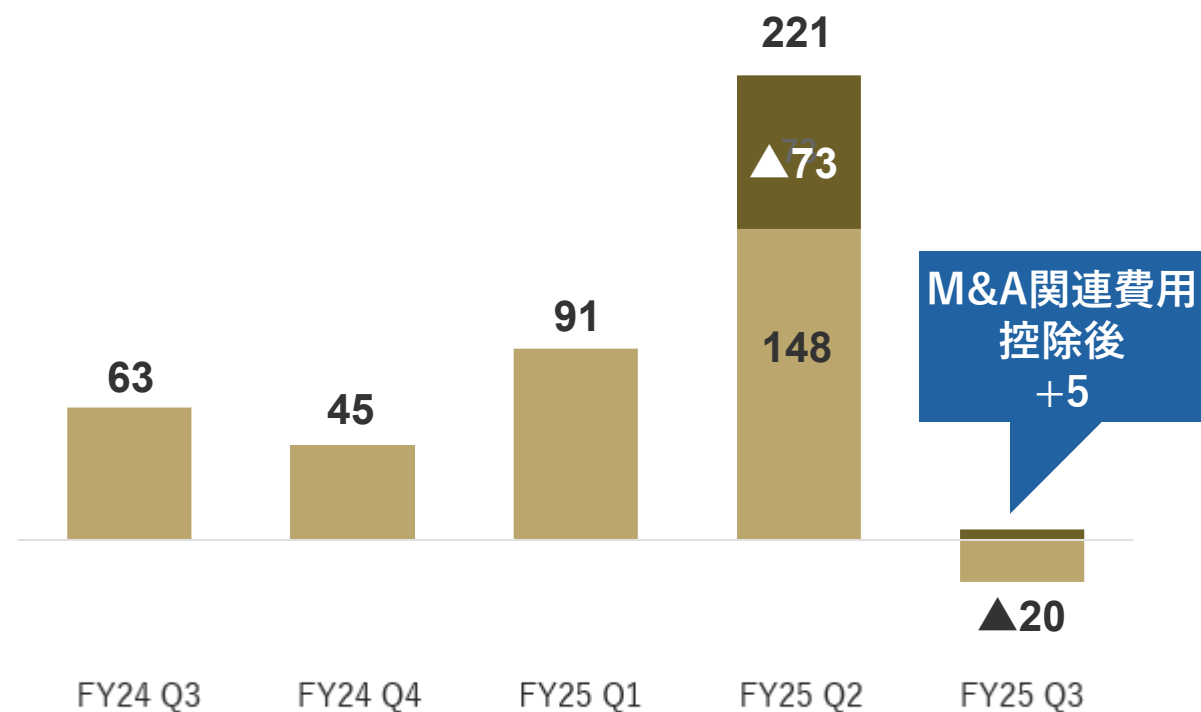
2025年11月期 第3四半期業績 EBITDAの推移

EBITDA^(*1)は前年同期比▲83百万円の▲20百万円で着地。

ポラリファイM&A関連費用を除いたEBITDAは5百万円での着地。

(百万円)

■ 連結 ■ ポラリファイM&A関連



*1 EBITDA=営業利益+減価償却費（有形・無形固定資産）+株式報酬費用+のれん償却額

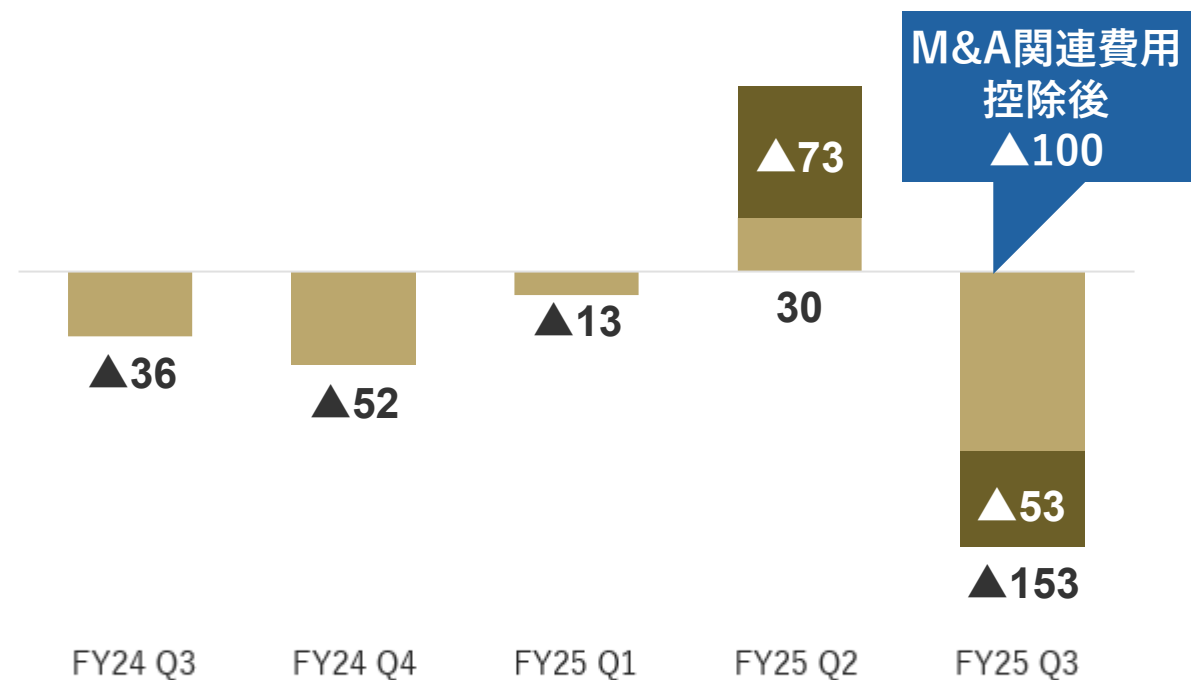
2025年11月期 第3四半期業績 営業利益の推移

営業利益は前年同期比▲117百万円の▲153百万円で着地。

ポラリファイM&A関連費用を除いた営業利益は前年同期比▲64百万円の▲100百万円での着地。

(百万円)

■ 連結 ■ ポラリファイM&A関連



2025年11月期 第3四半期業績
連結貸借対照表

ポラリファイの買収資金の借入により現預金残高および借入残高が増加。
株主資本は15.4億円、純資産は20.2億円、自己資本比率は24.4%。

【主要な増減項目】

① 現預金/短期借入金/長期借入金
ポラリファイの株式取得の借入実施

② 株主資本
親会社株主に帰属する当期純損益のマイナスにより減少

(百万円)		FY25 Q2	FY25 Q3
	流動資産	3,413	3,545
①	うち、現預金	2,057	2,701 ↑
	うち、売掛金	1,097	677
	固定資産	2,564	2,755
	有形固定資産	366	341
	無形固定資産	1,986	2,183
	投資その他資産	210	230
	資産合計	5,977	6,301
	流動負債	2,330	1,991
①	うち、短期借入金 ^(*1)	794	1,222 ↑
	固定負債	1,481	2,284
①	うち、長期借入金	1,179	2,008 ↑
	負債合計	3,812	4,275
	純資産	2,164	2,026
	新株予約権	221	257
②	株主資本	1,706	1,536 ↓
	非支配株主持分	236	231
	負債・純資産合計	5,977	6,301

*1 1年以内に返済期限が到来する長期借入金を含む

通期業績予想に対する進捗

- 当社売上および利益については、第3四半期対比で第4四半期の方が強い傾向が存在しており、2025年7月に開示した通期修正予想に対しては計画通りに進捗。

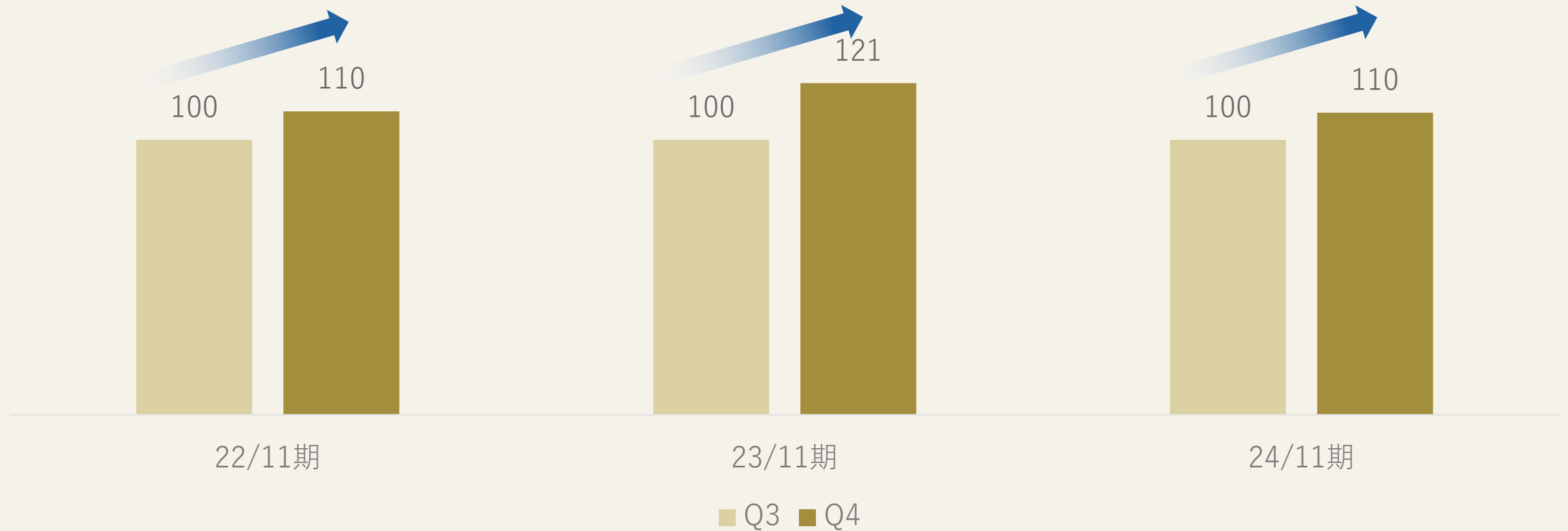
(百万円)	2025年11月期 通期修正予想	2025年11月期 第3四半期累計実績	修正後予想に対する進捗率	
売上高	3,815～4,000	2,721		68.0%～71.3%
(個人認証売上高)	3,770～3,955	2,689		68.0%～71.9%
売上総利益	2,975～3,125	2,139		68.4%～71.9%
EBITDA ^(*1)	150～275	219		79.6%～146%
営業利益	▲325～▲225	▲136	N/A	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲825～▲725	▲622	N/A	

*1 EBITDA=営業利益+減価償却費（有形・無形固定資産）+株式報酬費用+のれん償却額

(参考) 四半期別認証完了回数のトレンド

- 第4四半期の認証完了回数は前四半期対比で110%～120%程度増加するトレンドが存在

過去3年におけるLIQUID eKYCにおける第3四半期と第4四半期の認証完了回数のトレンド



目次

2025年11月期 3Q業績ハイライト

各種トピック

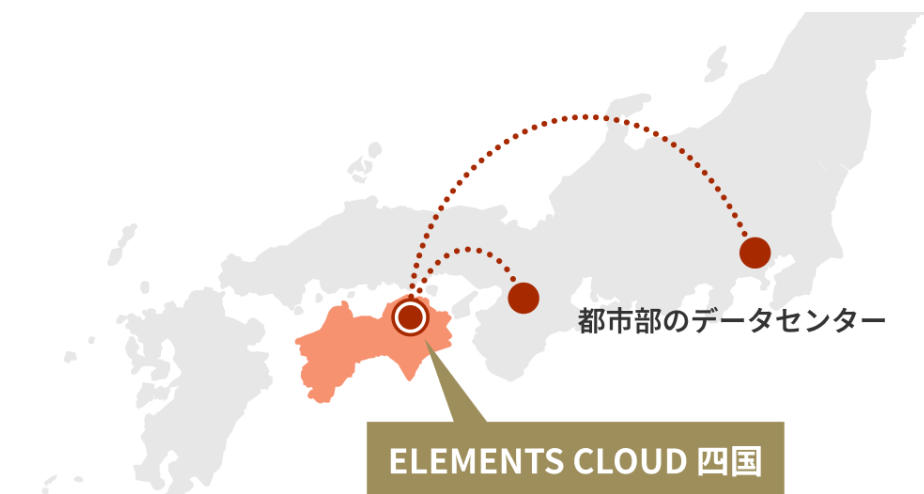
Appendix

ELEMENTS CLOUD自社データセンタの立ち上げ

- 総務省が推進する「デジタルインフラ整備基金助成事業」の公募において、当社子会社の株式会社ELEMENTS CLOUD 四国（本社：香川県高松市、代表取締役：久田 康弘）が実施事業者として採択。
- 本助成金を活用しながら、香川県高松市に自社AIデータセンターを構築する。

事業概要

「デジタルインフラ整備基金助成事業」の助成金を活用し、「ELEMENTS CLOUD 四国データセンター」を香川県高松市に設置。
地域の計算資源として活用する他、都市部のデータセンターと相互接続を行うことで、地域格差や災害リスクといった課題を解決することを目的とする。



取り組み内容

- GPUを中核とした AI計算基盤施設（データセンター）の整備

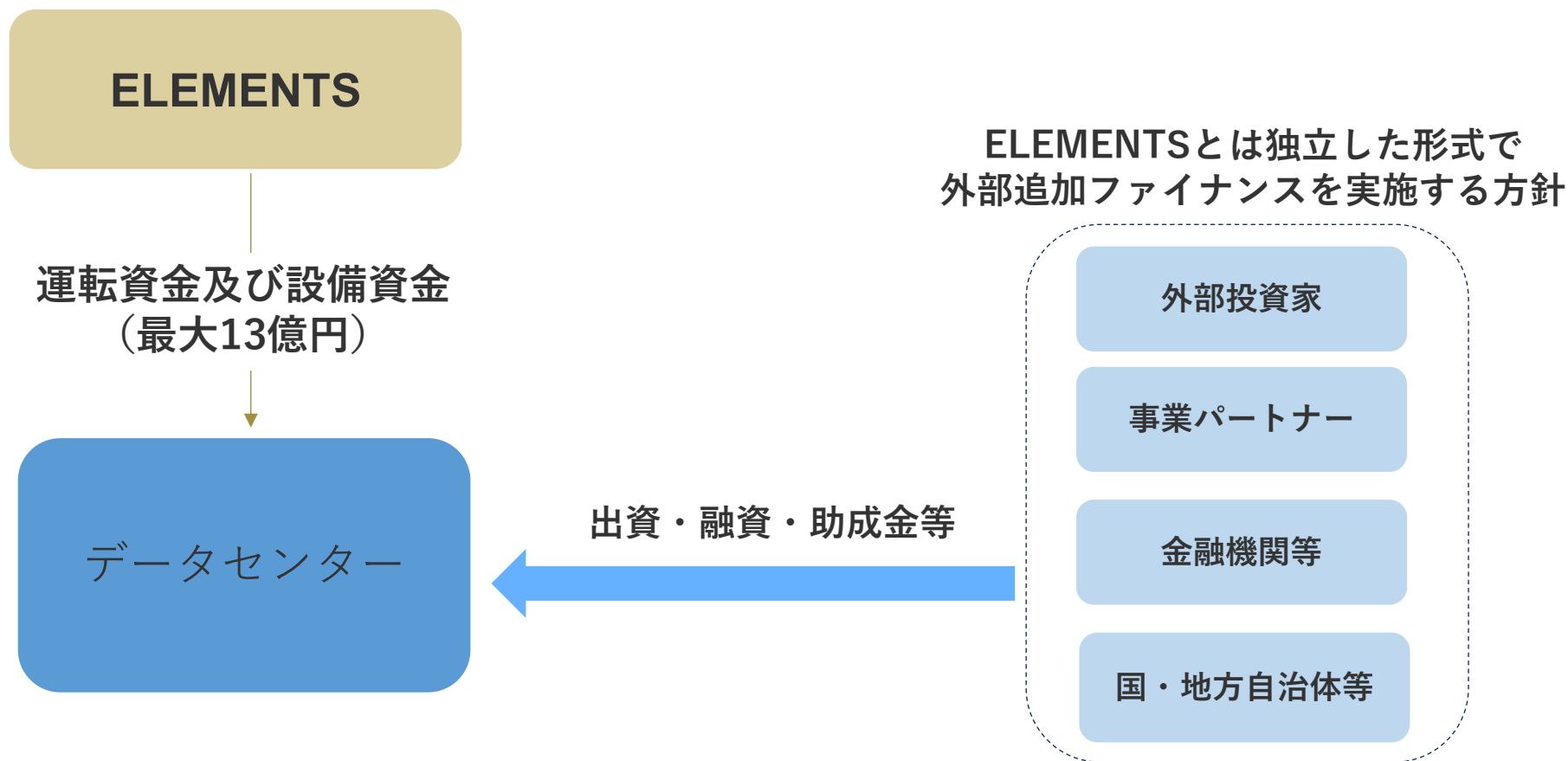
GPUサーバーを中核とするAI計算基盤施設
「ELEMENTS CLOUD 四国データセンター」を整備
地域・業種特化型LLMの開発や多様なAI活用に対応する十分な計算資源を備える

- 自社開発のマネージドシステムによるクラウドサービス

基盤モデルの開発から高速なAI推論までを一貫して支えるクラウドサービスを提供

自社データセンターに係る将来的な資金調達の考え方

- 本件資金のうち、最大13億円を「ELEMENTS CLOUD」の事業拡大に必要な人件費等の運転資金及びデータセンター等の設備資金に充当予定。
- データセンターで必要な今後の運営資金については、今後はELEMENTSと独立した形で資金調達を行う方針。



目次

2025年11月期 3Q業績ハイライト

各種トピック

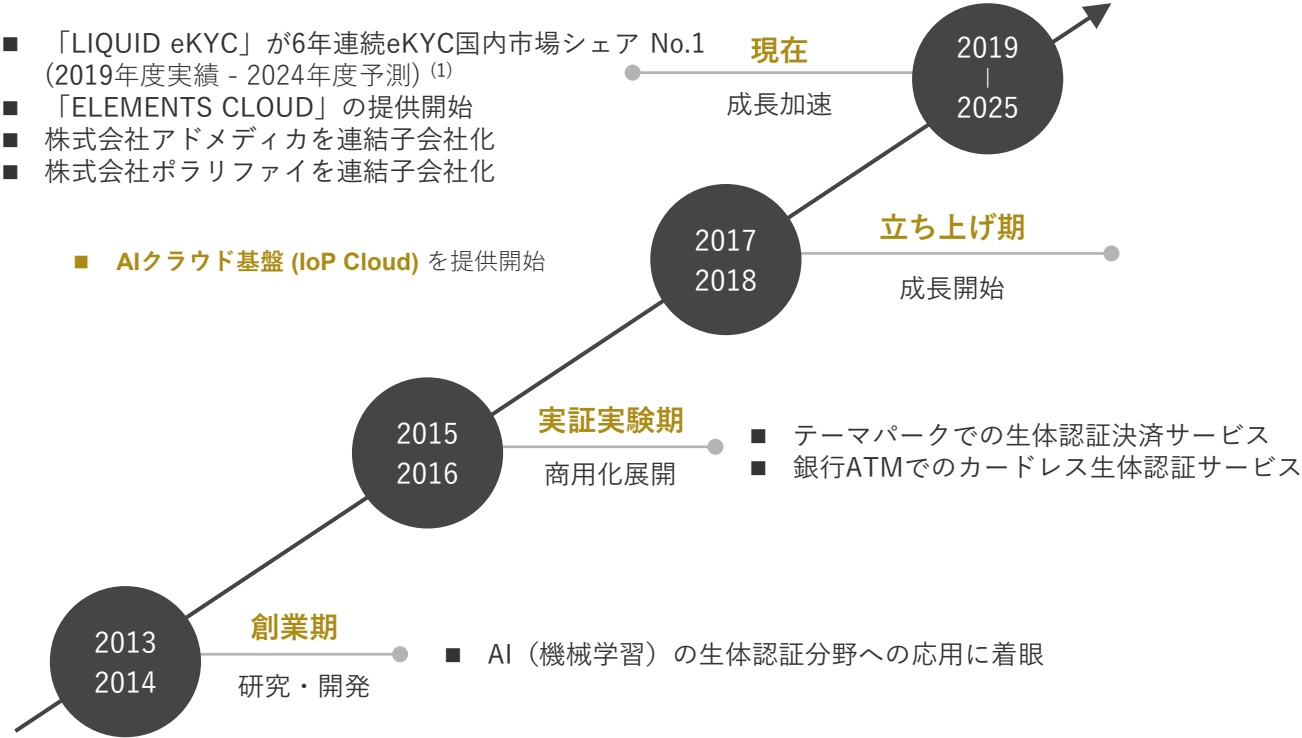
Appendix

会社概要とこれまでの歩み

会社概要

会社名	株式会社ELEMENTS ELEMENTS, Inc.	
設立	2013年12月	
代表取締役	代表取締役会長 久田 康弘 代表取締役社長 長谷川 敬起	
グループ会社	株式会社Liquid、X PLACE株式会社 株式会社アドメディカ、株式会社ポラリファイ 株式会社ELEMENTS CLOUD四国 株式会社IDEAL、PT. Indoliquid Technology Sukses	
従業員数	99名（2025年5月末、連結） ※正社員および有期雇用人員の合計	
事業内容	・生体認証・画像解析・機械学習技術を活用した 個人認証ソリューション、衣食住における個人最適化ソリューション、並びに個人情報を管理するクラウドサービスの開発・提供	
受賞・採択	・総務省 「ICTイノベーション創出チャレンジプログラム」 ・経済産業省・総務省 「IoT Lab Selection」第1回グランプリ ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 「Japan Venture Awards 2018」JVA審査委員長賞 ・一般社団法人東京ニュービジネス協議会 「第17回 IPO大賞」 ・「日本スタートアップ大賞総務大臣賞」	

これまでの歩み

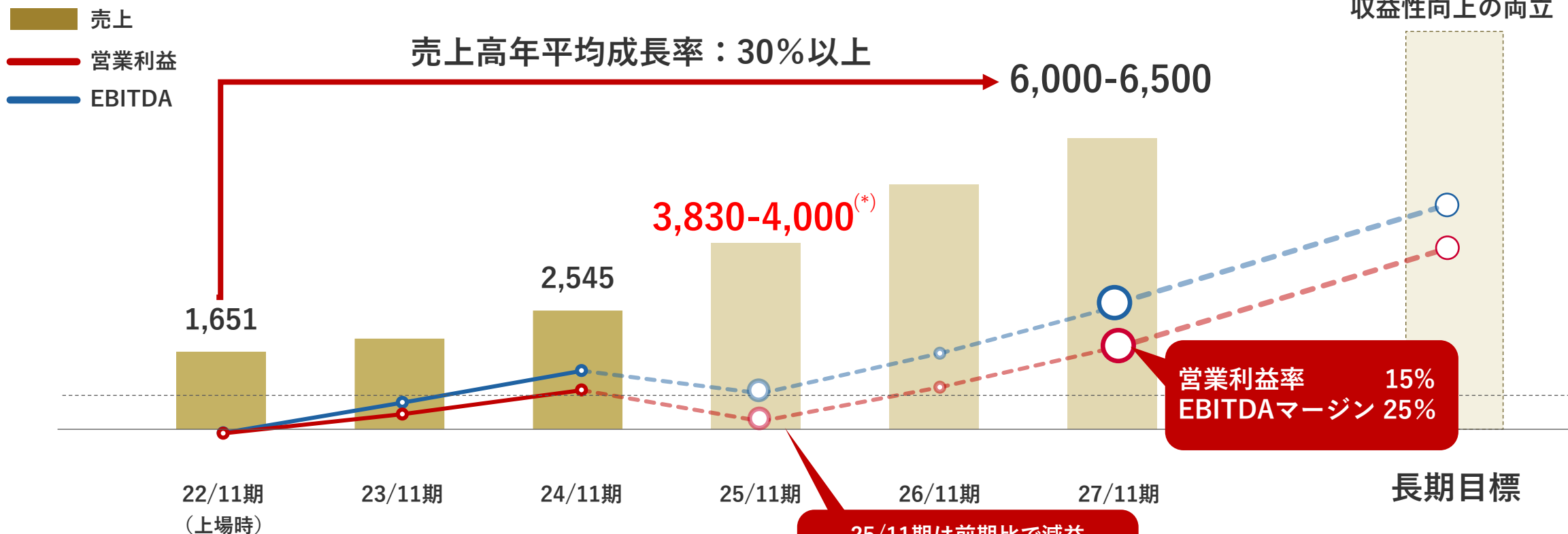


(1) ITR 「ITR Market View：アイデンティティ・アクセス管理 / 個人認証型セキュリティ市場 2025」
eKYC市場：ベンダー別売上金額シェア（2019年度実績～2024年度予測）

中期財務目標

- 2027年11月期の財務目標として、売上60億～65億円、営業利益率15% EBITDAマージン25%を設定
- 売上については、上場後5年の年平均成長率で30%以上となる水準を目標とする。

(百万円)



25/11期は前期比で減益
営業利益およびEBITDA予想は
別途開示

2025年7月14日開示

(参考) プレスリリース一覧 (2025年7月～9月末)

発表日	会社名	タイトル
2025年9月26日	ELEMENTS	総務省の「デジタルインフラ整備基金助成事業」に採択
2025年9月26日	Liquid	語学業界初、eスポーツ英会話のゲシピに外国人材管理システム「GPASS」を提供
2025年9月25日	Liquid	古物買取の「爆益買取」にオンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」を提供
2025年9月25日	Liquid	IC読取による本人確認の離脱を防ぐ新たなUI/UXを提供
2025年9月16日	Liquid	事業者向け融資を行うNPファイナンスにオンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」を提供
2025年9月12日	Liquid	駐車場予約アプリ「アキッパ」に「LIQUID eKYC」の公的個人認証(JPKI)を提供
2025年9月9日	ELEMENTS	文部科学省「アントレプレナーシップ推進大使」にELEMENTS代表取締役会長 久田が就任
2025年9月4日	Liquid	WebブラウザからのIC読取と顔認証による本人確認に対応
2025年8月28日	Liquid	大手オンライン証券会社に不正対策でパスキー(FIDO2)を提供予定
2025年8月25日	Liquid	韓国の決済サービス「Tomoarrow」に「ICおまかせパック」で公的個人認証(JPKI)を提供
2025年8月18日	Liquid	カルビーに「ICおまかせパック」で公的個人認証(JPKI)を提供
2025年8月7日	Liquid	マッチングアプリ「ZOZOマッチ」にオンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」を提供
2025年8月4日	Liquid	スマホのマイナンバーカードによる本人確認に11月より対応、犯収法ルに準拠
2025年7月31日	Liquid	ギグワーカープラットフォーム「SPOTJOBS™」にオンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」を提供
2025年7月30日	Liquid	タイミーにオンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」を提供
2025年7月29日	Liquid	LINE証券に「ICおまかせパック」で公的個人認証(JPKI)を提供
2025年7月28日	Liquid	KDDIの店舗に「オフラインIC本人確認プラン」を提供
2025年7月25日	Liquid	闇バイトを業界横断で未然に防ぐ、スキマバイト業界向けプランを提供
2025年7月24日	Liquid	累計80万導入の奉行シリーズに、GPASSが外国人就労管理システムとして初連携
2025年7月17日	Liquid	DMM競輪の本人確認に「LIQUID eKYC」の公的個人認証(JPKI)などを提供
2025年7月15日	Liquid	ahamoにICチップと顔認証によるオンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」を提供
2025年7月15日	Liquid	国内最大級の競輪情報サイト「netkeirin」にオンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」を提供
2025年7月10日	Liquid	オンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」に業界横断の不正検知アラート機能を追加
2025年7月8日	Liquid	ファミマのアプリ「ファミペイ」がオンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」の公的個人認証(JPKI)を採用
2025年7月4日	Liquid	外国人就労管理システム「GPASS」に派遣会社の業務を効率化するグループ管理機能を追加
2025年7月3日	Liquid	オンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」がマイナ免許証に対応

本資料の取り扱いについて

- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。
- 本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- 上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社グループが事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。
- また、当社グループ以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社グループはそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

Mission

BEYOND SCIENCE FICTION